

## 採蜜に同行しました

石塚養蜂園さんのお手伝いをしに秋田まで行ってきました。今年、蜂場から離れた場所に蜜蓋（ミツブタ）を切り取る作業場を設置したので、網を被らなくも大丈夫でした。毎回作業をしながら思うこと。蜂たちが死と隣り合わせで一生涯懸命必死に作った蜜。急に人間たちがかささらってごめんなさい。でもだからといって刺さなくてもいいんだよ。君も死ぬし、私たち人間も痛いし、腫れるしお互いなんの得にもならない。ここは平和協定を結ぼうじゃないか！ま、でも想いは通じず、結局刺されるんですけどね。



▲蜜蓋を切り取り、すぐ分離器にかけます。



▲女王蜂の巣



▲フタを切った後、分離器に入れます



◀いつの間にかゴム手袋に刺されてました。この蜂は針を残して死んでいく運命です。命がけで刺しにきます。ピンクの物体は蜂の体内にあった毒袋です。



## 7月号 Vol. 8 協力隊通信

宮原 治代  
(ミヤハラ ハルヨ)

### プラズマカーがやって来方

耕野小学校の放課後学習、ころたけクラブで見守り隊をさせてもらっています。この日は役場の生涯学習課よりプラズマカー、その他遊具がやってきました。子供たちより先生を含む大人の方がはしゃいでいたように思います。私も結構本気でゲームをしていましたが子供たちのほうが上手！！



### オリンピック選手団が丸森に！

来たる8月9日～11日にオリンピックザンビア代表の選手団が丸森町に来てくれることになりました。そこでもしザンビアの方に会ったときに言って欲しいひと言。「ムリシャーニ？」現地語で「元気ですか？」という意味で、挨拶に使われる言葉です。ザンビア人、大喜びです♪ぜひ試してください！



## 丁寧な仕事

少し葉が枯れるまで待って収穫▶

館矢間の農家さんのニンニクの収穫のお手伝いに行きました。こちらの農家さんはとてもこだわりを持っていて、種子もわざわざ取り寄せています。収穫の仕方もニンニクを傷つけないよう、とても丁寧に扱っていました。ぜひザンビアの農家さんにも紹介したいと思います。



▲3階級くらいに選別します



▲茎を切っても水が滴るほどフレッシュ



▲スマホと比べてもなかなかのデカさ

## お酒を飲めない人が大量の梅をどう消費するかを考えた

裏です。

梅を大量にいただきました。梅をいただいてまず思い浮かぶのが「梅酒作る！」ですが、お酒がほぼ飲めない私は梅酒1リットル作っても5年は無くならない。でもとりあえず1瓶作りました。お裾分けも考えたけど自分の味に自信無いし、みんな作ってるだろうし。あとは？梅サワーか。あとは？五日間くらいずっとネットで調べてました。そのうち洗って軸取った梅は段々と黄色に変化し、え？カビ生えてない？梅サワー、梅シロップ、梅の甘露煮？あとは？あとは？梅醤油？考えているうちに梅の限界が来て少しポイしてしまいました。ごめんなさい。

お酒も飲めないひとり暮らしは大量にもらっちゃいけないことだけはわかりました。



## 芸術は爆発なのだ

もともと芸術学部を卒業している私ですが、久々作品を作りました。今度は大作を作りたいです。

(左から) きりたんぼ、ダイヤ、ハート、気球、鉛筆、サイコロ、四足歩行の何か(進化中)▶



余談ですが

1週間ほど九州の友達が遊びに来ていました。ここ耕野をとても好きになってくれました。「ばり癒されるっちゃけど～」と言って帰りました。今後も都会に疲れた友達に耕野療法をおすすめしたいと思います。